

3.12 国際推進部門

部門長 藤本昌彦

【部門概要】

1 研究開発環境のグローバル化、国際標準化等を推進し、国際競争力強化に貢献

経済・社会のグローバル化に伴い、情報通信技術の研究開発並びにその成果の展開という観点においてもこれまで以上に国際戦略が重要視されてきている。このような状況から NICT では平成 23 年 4 月 1 日からの第 3 期中期目標・中期計画期間の開始に合わせ、新たな組織として国際推進部門を発足し、国際戦略を強力に展開することとしている。

国際推進部門では、NICT の研究開発における国際交流や研究成果の国際的な展開を推進するとともに、産業界・大学等における国際共同研究や国際的な人材交流等も支援するなど、我が国の情報通信技術の研究開発環境のグローバル化を目指した取り組みを行っている。また、研究成果の実用化・国際展開という面で非常に重要な要素となる標準化についても産業界等と連携して効果的な取り組みを推進している。このような研究開発環境のグローバル化並びに標準化の推進を通じて、我が国の情報通信技術分野における国際競争力の強化に貢献することとしている。

2 国際推進部門の構成

当部門の業務は、次の 3 室及び 3 地点の海外連携センターにより実施しており、その業務概要は以下のとおり。

(1) 国際研究推進室

国内の研究機関を受入れ機関としての海外研究者の招へい、国際研究集会開催の支援、海外の研究機関と共同研究を行う国内の研究機関への助成、外国為替及び外国貿易法（外為法）に定められた「輸出者等遵守基準」に対応するため、NICT における輸出管理に係る手続きの運用・輸出担当者への各種情報提供。

(2) 国際連携推進室

NICT と諸外国の関連研究機関との国際共同研究・研究協力の推進、包括的研究協力協定（MOU）の締結、NICT として対応すべき（研究所等の単独開催ではない）ワークショップ及び国際会議を主催あるいは共催、包括的な協力協定に基づき、インターンシップ研修員の NICT への受入れの募集、選定、海外の ICT 分野の研究開発動向、世界的な技術トレンド、ICT 政策等について調査。

(3) 標準化推進室

国内外の標準化関連機関との連携並びにそれらの活動状況を収集し研究現場に提供、標準化会議で活躍できるための人材育成、国内の関係機関との連携による国際標準化会合の日本での開催招致、その他研究現場のフォーラム活動支援等を始めとする研究現場の標準化活動支援。

(4) 海外連携センター（アジア連携センター、北米連携センター、欧州連携センター）

各地域における研究開発等に係る情報収集、研究連携のための企画、推進、支援及び関係機関との連絡調整、国際標準化のための情報収集、推進及び支援。

【主な記事】

1 国際的な研究協力の推進

タイ国家放送通信委員会（NBTC）、国立 ICT オーストラリア（NICTA）、米国商務省標準技術院情報技術研究所（NIST-ITL）等の各国を代表する研究機関を含む 9 機関と研究協力覚書を締結。

2 情報交換の促進

NICT-TRIDI joint Seminar、AFICT in Taiwan、第 9 回 NICT-ETRI 合同 WS、第 4 回日中 ICT フォーラム及び日米 ICT R&D フォーラム等を開催。

3 国際的な人材交流

研究協力覚書を締結している 7 機関から 11 名のインターンシップ研修員を受入れ。

4 海外研究者招へい

国際交流プログラム海外個別招へいにより 5 名、国際研究協力ジャパントラスト事業により 2 名の海外研究者を国内研究機関に受入れ。

5 国際研究集会

国際交流プログラム国際研究集会支援として、6件の国際研究集会を支援。

6 国際共同研究助成

国際共同研究の助成として、6件の助成を実施。

7 安全保障輸出管理関連業務

外国為替及び外国貿易法（外為法）に定められた「輸出者等遵守基準」に対応するため、内部規程を整備し、NICT内の手続きの運用、担当者への各種情報の提供を実施。

8 標準化の推進

ITU、APT、IEEE、ETSI等の標準化機関の会合に参加並びに研究現場への情報提供、ITUテレコム2011に国際標準化に貢献するNICT研究成果を展示、国内標準化機関との協力によるITUの国際標準化会合の国際開催支援。